

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場会社名 三菱レイヨン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3404 URL <http://www.mrc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 社長執行役員

(氏名) 鎌原 正直

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 指山 正敏

TEL 03-5495-3100

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	91,336	—	2,341	—	3,513	—	1,223	—
20年3月期第1四半期	100,045	6.3	12,188	△11.0	13,075	△6.9	6,528	△12.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2.14	—
20年3月期第1四半期	10.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	441,895	207,888	43.6	336.32
20年3月期	451,540	215,819	44.2	348.59

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 192,493百万円 20年3月期 199,528百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	203,000	—	3,500	—	4,000	—	500	—	0.87
通期	405,000	△3.2	6,000	△84.0	6,000	△82.3	0	△100.0	0.00

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 599,997,820株 20年3月期 599,997,820株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 27,637,356株 20年3月期 27,626,054株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 572,370,014株 20年3月期第1四半期 599,503,818株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、業績予想数値には、退職給付会計における数理計算上の差異の平成19年度発生額の償却費として第2四半期連結累計期間約30億円、通期約60億円が、営業費用として含まれています。なお、上記の業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の海外経済は、米国ではサブプライムローン問題に端を発した景気後退懸念が一層強まり、アジアでは、全体としては引き続き高成長を維持したものの、中国では米国を起点とする世界経済の減速懸念により輸出の伸びが鈍化するなど、成長のテンポはやや緩やかになりました。日本経済においては、エネルギーや原材料価格の高騰が企業収益を圧迫し、個人消費も横ばいに推移するなど、景気は先行き不透明感を強めました。

このような厳しい経営環境の中で、当社グループは、本年度から新たにスタートした第6次中期経営計画「グローバルUS→2010」を推進していますが、円高や原燃料価格の高騰の影響は極めて大きく、減収減益となりました。

当第1四半期の売上高は91,336百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は2,341百万円(同80.8%減)、経常利益は3,513百万円(同73.1%減)、四半期純利益は1,223百万円(同81.3%減)となりました。

なお、平成17年度より退職給付会計における数理計算上の差異の処理方法を、発生の翌年度に営業費用として一括償却する方法に変更しており、数理計算上の差異償却額(前第1四半期は16百万円の損、当第1四半期は1,574百万円の損)を除いた当第1四半期の営業利益は3,915百万円(前年同期比67.9%減)、経常利益は5,087百万円(同61.1%減)となります。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

化成品・樹脂事業

MMAモノマーは、アジア向けを中心に拡販に努めましたが、国内での透明樹脂用途の需要減退に加えて、円高や高騰を続ける原燃料価格の影響により、全般に低調でした。アクリル樹脂成形材料及びアクリル樹脂板は、国内需要が全般に低迷しましたが、海外では導光板用途を始めとしたIT関連を中心に、販売は堅調に推移しました。コーティング材料は、船舶用途や海外を中心とした自動車用途の需要が堅調で、前年同期並みの売り上げを確保しました。情報材料関連では、液晶用プリズムシート「ダイヤアート」が、主力のノート型パソコン用途での競争激化により、販売量の減少、販売価格の下落が続き、収益は大幅に悪化しました。

各事業とも高騰を続ける原燃料価格に対して、製品価格の引き上げに努めましたが、成果は不十分なものとなりました。

アクリル繊維・AN及び誘導品事業

アクリル短繊維は、主力市場である中国での需要減退及び市況低迷が著しく、原燃料価格の高騰に伴う採算悪化に対して日本及び中国での生産調整を強化するなど、事業環境は極めて厳しいものとなりました。

アクリロニトリル(AN)は、アクリル繊維の需要減退等の影響により需給が緩み、原燃料価格の大幅な高騰に対する製品価格の引き上げが十分でなかったことから、収益は低迷しました。

炭素繊維・複合材料事業

炭素繊維・複合材料は、炭素繊維市場全体の成長基調に変化はないものの、各社生産能力の増強に伴い、需給の逼迫感が徐々に緩和される傾向にあります。加えて、米国の景気後退等の影響により、スポーツ・レジャー用途での需要が伸び悩んだこともあり、全般として低調でした。なお、産業用途での大型構造物向けに開発した新タイプの炭素繊維「パイロフィルP330シリーズ」については、サンプル出荷を開始しました。

アセテート、機能膜事業その他

アセテート繊維他事業では、三菱レイヨン・テキスタイル(株)は、トリアセテート長繊維「ソアロン」が、主力の米国向けをはじめとして国内外で需要の減少が著しく、収益は低迷しました。

機能膜事業については、家庭用清水器の販売は堅調でしたが、機能膜製品では、中国での大型の下排水処理物件の遅れもあり、低調に推移しました。

エンジニアリング事業については、得意とする分野のプラント建設工事を中心に堅調でした。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態

総資産は、前連結会計年度末と比べて9,644百万円減少し、441,895百万円となりました。流動資産については、製品などの棚卸資産は増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ3,940百万円減の173,319百万円となりました。固定資産については、機械装置及び運搬具などの有形固定資産や、無形固定資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ5,703百万円減の268,576百万円となりました。

負債は前連結会計年度末と比べて1,713百万円減少し、234,007百万円となりました。流動負債については、支払手形及び買掛金が増加した一方、引当金が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ935百万円増の138,849百万円となりました。固定負債については、長期借入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ2,649百万円減の95,157百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて7,930百万円減少し、207,888百万円となりました。これは、利益剰余金の減少及び為替換算調整勘定の変動などによります。

## (2) キャッシュ・フロー

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて547百万円減の16,814百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などにより、12,029百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資などにより10,137百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加があった一方、長期借入金の返済や配当金の支払いなどがあったことにより、1,874百万円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の事業環境は、平成20年5月2日の前回業績予想公表時に比べ、予想を上回る急激な原燃料価格の高騰や景気後退懸念による需要低迷等により、大幅に悪化しています。これにより、平成20年8月5日付けにて業績予想の修正を行っています。

第2四半期連結累計期間の業績予想については、売上高は前回予想から100億円減収の2,030億円、営業利益は75億円減益の35億円、経常利益は60億円減益の40億円、当期純利益は30億円減益の5億円と予想しています。

通期の業績予想については、売上高は前回予想から250億円減収の4,050億円、営業利益は180億円減益の60億円、経常利益は170億円減益の60億円、当期純利益は95億円減益の0億円と予想しています。

具体的な内容については「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成21年3月期の連結業績予想においては、退職給付会計における数理計算上の差異償却額として第2四半期連結累計期間約30億円、通期約60億円を営業費用に含めて算定しています。

数理計算上の差異償却額を除いた平成21年3月期の連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期(※)、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期(※)増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	203,000	—	6,500	—	7,000	—	2,300	—	4.02
通 期	405,000	△3.2	12,000	△69.7	12,000	△66.7	3,600	△76.8	6.29

(注)※対前期及び対前年同四半期は、数理計算上の差異償却額を除いた実質ベースにて増減率を算出しています。

また、当社グループの第6次中期経営計画において、海外紡績、国内外原綿製造などのアクリル繊維事業の構造改革を重要課題の一つとしており、事業環境が一層厳しくなる中で、早期に実行すべく取り組んでいます。従って、本年度において構造改革に伴う特別損失が発生する可能性があります。現時点では金額及び発生時期が未確定のため、上記の業績予想には織り込んでいません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

## ② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

## ③ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しています。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。また、これに伴い、前連結会計年度まで営業外費用に計上していた「たな卸資産評価損」及び「たな卸資産廃棄損」は売上原価に含めて計上しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益及び営業利益が1,158百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が1,101百万円それぞれ減少しています。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

## ③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

この結果、期首の利益剰余金から1,285百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しています。なお、この変更による損益への影響はありません。

## ④ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しています。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、資産に与える影響は軽微であり、損益への影響はありません。

## (追加情報)

## ⑤ 重要な減価償却資産の減価償却の方法の変更

連結財務諸表提出会社、国内連結子会社9社及び持分法適用国内関連会社1社は、法人税法改正による法定耐用年数の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より主に機械装置の耐用年数を変更しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益は222百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は234百万円それぞれ減少しています。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,814	17,361
受取手形及び売掛金	72,285	81,456
製品	39,890	34,435
原材料	15,357	15,105
仕掛品	6,479	5,993
その他	22,835	23,253
貸倒引当金	△343	△345
流動資産合計	173,319	177,259
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	81,102	84,658
その他(純額)	88,730	88,823
有形固定資産合計	169,832	173,481
無形固定資産	6,966	8,811
投資その他の資産		
投資有価証券	73,910	70,996
その他	17,967	21,128
貸倒引当金	△99	△137
投資その他の資産合計	91,778	91,987
固定資産合計	268,576	274,280
資産合計	441,895	451,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,452	61,923
短期借入金	42,945	42,953
引当金	2,456	4,177
その他	27,995	28,859
流動負債合計	138,849	137,914
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	34,213	35,711
退職給付引当金	27,376	27,659
その他の引当金	738	1,084
その他	2,829	3,352
固定負債合計	95,157	97,806
負債合計	234,007	235,721

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,229	53,229
資本剰余金	28,795	28,796
利益剰余金	119,497	122,706
自己株式	△10,490	△10,488
株主資本合計	191,031	194,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,968	5,753
繰延ヘッジ損益	1	7
為替換算調整勘定	△6,508	△476
評価・換算差額等合計	1,462	5,283
少数株主持分	15,394	16,290
純資産合計	207,888	215,819
負債純資産合計	441,895	451,540

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

売上高	91,336
売上原価	73,414
売上総利益	17,921
販売費及び一般管理費	
賞与引当金繰入額	418
退職給付費用	581
研究開発費	3,577
その他	11,003
販売費及び一般管理費合計	15,580
営業利益	2,341
営業外収益	
受取利息	62
受取配当金	381
持分法による投資利益	464
為替差益	756
その他	294
営業外収益合計	1,957
営業外費用	
支払利息	543
その他	242
営業外費用合計	785
経常利益	3,513
特別利益	
固定資産売却益	20
特別利益合計	20
特別損失	
固定資産除売却損	386
減損損失	32
投資有価証券評価損	6
特別損失合計	425
税金等調整前四半期純利益	3,108
法人税等	1,537
少数株主利益	347
四半期純利益	1,223

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,108
減価償却費	6,439
減損損失	32
のれん償却額	178
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△282
前払年金費用の増減額(△は増加)	1,648
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26
受取利息及び受取配当金	△443
支払利息	543
為替差損益(△は益)	△30
持分法による投資損益(△は益)	△464
投資有価証券評価損益(△は益)	6
固定資産除売却損益(△は益)	171
売上債権の増減額(△は増加)	7,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,855
仕入債務の増減額(△は減少)	5,464
その他	△254
小計	15,726
利息及び配当金の受取額	443
利息の支払額	△448
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△9,656
有形固定資産の売却による収入	66
投資有価証券の取得による支出	△4
短期貸付金の増減額(△は増加)	△185
その他	△357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,141
長期借入金の返済による支出	△2,470
配当金の支払額	△3,144
少数株主への配当金の支払額	△58
少数株主からの払込みによる収入	663
その他	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	△565
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△547
現金及び現金同等物の期首残高	17,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,814

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	化成品・樹脂事業 (百万円)	アクリル繊維・AN及び誘導品事業 (百万円)	炭素繊維・複合材料事業 (百万円)	アセテート、機能膜事業その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	42,897	14,389	10,559	23,490	91,336	—	91,336
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,046	1,272	2	9,479	13,799	(13,799)	—
計	45,943	15,661	10,561	32,969	105,135	(13,799)	91,336
営業利益(又は営業損失) [数理計算上の差異償却額を除く]	1,616 [2,615]	(878) [(699)]	1,403 [1,622]	133 [310]	2,275 [3,849]	66 [66]	2,341 [3,915]

(注) 1 当社グループの事業区分は、製品の使用目的、製造方法・製造過程及び市場の類似性などを考慮して決定しています。

2 各事業区分に属する主要な製品の名称は次のとおりです。

事業区分	主要製品
化成品・樹脂事業	化成品、成形材料、板、コーティング材料、機能性コポリマー、UV硬化塗料、樹脂改質用コポリマー、アクリル系フィルム、液晶用プリズムシート、プラスチック光ファイバー、プラスチックロッドレンズ
アクリル繊維・AN及び誘導品事業	アクリル繊維、アクリロニトリル及び誘導品
炭素繊維・複合材料事業	炭素繊維、複合材料加工品、航空機材
アセテート、機能膜事業その他	アセテート繊維、ポリエステル繊維、ポリプロピレン繊維、スエード調人工皮革、清水器、中空糸膜フィルター、人工炭酸泉製造装置、水処理機器システム、プラントエンジニアリング、建築関連材料

3 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。また、これに伴い、前連結会計年度まで営業外費用に計上していた「たな卸資産評価損」及び「たな卸資産廃棄損」は売上原価に含めて計上しています。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は「化成品・樹脂事業」が454百万円、「アクリル繊維・AN及び誘導品事業」が296百万円、「炭素繊維・複合材料事業」が55百万円、「アセテート、機能膜事業その他」が352百万円それぞれ減少しています。

4 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、連結財務諸表提出会社、国内連結子会社9社及び持分法適用国内関連会社1社は、法人税法改正による法定耐用年数の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より主に機械装置の耐用年数を変更しています。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は「化成品・樹脂事業」が43百万円、「アクリル繊維・AN及び誘導品事業」が1百万円、「炭素繊維・複合材料事業」が150百万円、「アセテート、機能膜事業その他」が39百万円それぞれ減少しています。

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	72,073	11,653	7,609	91,336	—	91,336
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,928	2,217	158	9,304	(9,304)	—
計	79,001	13,871	7,768	100,641	(9,304)	91,336
営業利益	579	397	1,197	2,174	166	2,341

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国または地域  
(1) アジア・・・中国、タイ、インドネシア
- 3 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しています。また、これに伴い、前連結会計年度まで営業外費用に計上していた「たな卸資産評価損」及び「たな卸資産廃棄損」は売上原価に含めて計上しています。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は「日本」が1,144百万円、「アジア」が14百万円それぞれ減少しています。
- 4 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、連結財務諸表提出会社、国内連結子会社9社及び持分法適用国内関連会社1社は、法人税法改正による法定耐用年数の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より主に機械装置の耐用年数を変更しています。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益は「日本」が234百万円減少しています。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	28,833	13,211	42,045
II 連結売上高(百万円)	—	—	91,336
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.5	14.4	46.0

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。
- 2 各区分に属する主な国または地域  
(1) アジア・・・中国、タイ、インドネシア  
(2) その他の地域・・・北米、ヨーロッパ
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (19.4.1～ 19.6.30)
売上高	100,045
売上原価	73,163
売上総利益	26,882
販売費及び一般管理費	14,693
営業利益	12,188
営業外収益	1,692
営業外費用	805
経常利益	13,075
特別利益	24
特別損失	308
税金等調整前四半期純利益	12,791
法人税、住民税及び事業税	5,220
少数株主利益	1,042
四半期純利益	6,528

## (2) (要約)四半期キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期 (19.4.1～ 19.6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	12,791
減価償却費	5,804
退職給付引当金の増減額	△ 570
前払年金費用の増減額	993
売上債権の増減額	6,859
たな卸資産の増減額	△ 8,595
仕入債務の増減額	△ 1,547
法人税等の支払額	△ 10,693
その他	△ 3,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 8,100
投資有価証券の取得による支出	△ 7,720
その他	△ 1,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	8,870
長期借入金の返済による支出	△ 1,075
社債の発行による収入	10,000
配当金の支払額	△ 3,001
その他	△ 1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	157
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,587
現金及び現金同等物の期首残高	10,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,114

## (3)セグメント情報

前第1四半期(平成19年4月1日から平成19年6月30日まで)

(単位：百万円)

	化成品・ 樹脂事業	アクリル織 維・AN及び 誘導品事業	炭素織 維・複合 材料事業	アセテー ト、機能膜 事業その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
(1) 外部顧客に 対する売上高	44,087	19,838	11,834	24,285	100,045	—	100,045
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,712	1,266	2	8,687	12,668	(12,668)	—
計	46,799	21,104	11,837	32,972	112,714	(12,668)	100,045
営業費用	39,604	20,224	8,673	32,052	100,555	(12,698)	87,856
営業利益	7,194	880	3,163	920	12,159	29	12,188
[数理計算上の差異償却額を除く]	[7,193]	[883]	[3,174]	[923]	[12,176]	[29]	[12,205]